

お知らせ

2022年10月11日

エンタープライズサーバ「EP8000」において、最新 CPU「Power10」を搭載したミッドレンジおよびエントリーモデルを販売開始

社会インフラシステムに求められるセキュリティや環境配慮などに対応



エンタープライズサーバ「EP8000」シリーズ

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、高性能・高信頼な UNIX サーバであるエンタープライズサーバ「EP8000」シリーズにおいて、ミッドレンジモデルの「EP8000 E1050」および、エントリーモデルの「EP8000 S1024」、「EP8000 S1014」を10月12日から販売開始します。新モデルでは、強固なデータ保護を実現するセキュリティ機能を備え、エネルギー効率を約2.6倍^{*1}に向上する最新 CPU「Power10」^{*2}を搭載し、セキュリティの向上と環境配慮に向けた取り組みを支援します。このほか、EP8000シリーズの特長である高信頼性も継承しており、これらにより、中核サーバから拠点のエッジサーバまで、社会インフラシステムに求められるセキュリティや環境配慮、高信頼などのニーズに幅広く対応します。

*1 Power9 と Power10 プロセッサでの比較

*2 IBM Power9 後継となる最新 CPU

新モデルの特長

今回販売開始する全モデルは、すでに提供している Power10 搭載ハイエンドモデルと同様のセキュリティ機能や、環境に配慮した機能などを備えています。具体的には、Power10 上で高速にメモリ暗号化を行う機能^{*3}を全モデルでサポートしたほか、メルトダウン^{*4}などの投機的実行に関する脆弱性への攻撃を緩和する機能の性能を Power9 よりも向上し、セキュリティ強化がシステム性能におよぼす影響を低減します。また、環境配慮面では、EnergyScale 機能^{*5}による消費電力半減とプロセッサ高速化の相乗効果で、エネルギー効率を Power9 搭載モデル比で約2.6倍に向上しています。

さらに、従来提供している HA クラスタソフト「HA Booster Pack for AIX」との連携による高速系切替や、日立ストレージ連携時のエラートレース機能による迅速な障害原因究明など、日立独自の高信頼性も継承しています。

このほか、機械学習や深層学習に必要な行列演算を GPU なしでも実行可能とする AI エンジンの ML/DL MMA(Matrix Multiply Assist)を搭載したことで、業務に使用する EP8000 と同じサーバ上で AI を活用した分析や推論などを実行可能です。

*3 共通鍵暗号処理を行う Advanced Encryption Standard(AES)エンジン。Power9 比で 2.5 倍に高速化

*4 本来保護されるべきプロテクトメモリの内容が別のプロセスから読み出せてしまう脆弱性

*5 プロセッサの負荷増減とサーバ使用環境の温度変化に応じ、プロセッサの駆動周波数や有効化するコア数を制御する機能

1. ミッドレンジモデル「EP8000 E1050」

社会インフラシステムの中核サーバとして十分な性能と省スペース性、信頼性を備えたミッドレンジモデルです。最新鋭 Power10 プロセッサにより、従来モデル^{*6}比で処理性能を 1.2 倍に向上しています。また、プロセッサとメモリを高密度に集約したことで、従来モデルでは CPU ドロア(サーバ筐体)2 台構成で得られた性能が、1 台の CPU ドロアで得られるなど、省スペース化を実現しています。さらに、信頼性面では、予備の DRAM チップを備えた交替メモリチップ機能をミッドレンジモデルとして新たにサポートし、メモリ障害発生時も業務の継続を可能としました。これらにより、高い処理性能と省スペース性、および信頼性を確保したバランスのよいモデルとなっています。

*6 従来ミッドレンジモデル「E870」との比較

2. エントリーモデル「EP8000 S1024」

複数の業務サーバの統合に適したエントリーモデルの上位機種です。プロセッサの性能向上により、複数台の従来エントリーモデル^{*7}を本モデル 1 台に統合可能です。また、Power9 搭載機種ではミッドレンジモデル以上が対象であった、ハイパーバイザーがアクセスするメモリ上の領域を二重化する AMM(Active Memory Mirroring)機能を、エントリーモデルとして新たにサポートし、信頼性も向上しています。

*7 従来エントリーモデル「S824」「S914」が対象

3. エントリーモデル「EP8000 S1014」

拠点のエッジサーバとしても設置可能なモデルです。4U のラックマウントタイプとタワータイプが選択でき、100V 電源に対応するほか、処理性能は従来モデル^{*8}比で約 39%と大幅に向上し、拠点での IoT データ処理などに適しています。

*8 従来エントリーモデル「S914」との比較

新製品の価格と出荷時期

名称	概要	価格(税抜)	出荷開始 予定日
EP8000 E1050 (ミッドレンジ モデル)	・4U ラックマウントタイプ ・プロセッサ：Power10 3.36(max 4.0)GHz 最大 48 コア ・メモリ：最大 16,384GiB ・PCI スロット：最大 51 ^{*9}	53,371,000 円～	2023 年 3 月 31 日
EP8000 S1024 (エントリーモデル)	・4U ラックマウントタイプ ・プロセッサ：Power10 3.40(max 4.0)GHz 最大 24 コア ・メモリ：最大 8,192GiB ・PCI スロット：最大 30 ^{*9}	17,808,500 円～	2023 年 6 月 30 日
EP8000 S1014 (エントリーモデル)	・4U ラックマウントタイプ/タワータイプ ・プロセッサ：Power10 3.0(max3.90)GHz 最大 8 コア ・メモリ：最大 1,024GiB ・PCI スロット：最大 10 ^{*9} ・100V 電源に対応	ラックマウントタイプ 12,840,900 円～ タワータイプ 8,433,500 円～	

*9：周辺装置拡張筐体である I/O ドロワー接続時の最大値

■ 「EP8000 シリーズ」について

「EP8000 シリーズ」は、オペレーティングシステムに AIX[®]を採用する、日立の UNIX サーバです。金融機関をはじめとする企業の基幹業務や鉄道、電力などの社会インフラ向けシステムに多くの稼働実績があります。HA クラスタソフトや日立ストレージとの連携による高信頼で高速なデータ処理の実現にくわえ、長期保守を支援する日立サポート 360 により、基幹業務や社会インフラ向けシステムの安定稼働を支援しています。

EP8000に関するホームページ

エンタープライズサーバ「EP8000」

<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/EP8000/index.html>

商標注記

- ・ IBM,Power,POWER,POWER9,AIX,PowerVM は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
- ・ その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、商標もしくは登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 マネージドサービス事業部
お問い合わせフォーム <https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上